

ボランティア活動における注意事項と留意点

ボランティア活動の参加にあたり、まずは自分自身で被災地の情報を収集し、現地に行くか、行かないかを判断することです。家族の理解も大切です。参加する際には、必ず以下の注意点について確認してください。

1. 状況確認と事前準備

被災地で活動する際の宿所は、参加者が事前に被災地の状況を確認し、手配してください。水、食料（昼食以外）、その他身の回りのものについても参加者自身が事前に用意し、携行のうえ被災地での支援活動を開始してください。

2. 緊急連絡先の確認

被災地における緊急連絡先を必ず確認するとともに、地理や気候等周辺環境を把握したうえで活動してください。

3. 体調管理の徹底

被災地での活動では、予測できない突発的な危険が起こることもあります。さらに、活動が連日となったり、天候によって体調を崩すこともあります。安全や健康について、自分自身が管理することであることを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。

4. 熱中症対策

熱中症対策として、こまめな水分補給、休憩をとるようにしましょう。夏場はのどの渇きを感じていない場合でも、15分程度を目安に水分補給を行うよう心がけてください。

5. 休憩時間の確保

自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。

6. ケガ・体調不良の際の対応

ケガや体調不良があった際はリーダーに報告の上、治療が必要な場合は事務局へ連絡して指示を仰いでください。

7. 組織行動の徹底

被災地では、必ず災害ボランティアセンター、現地受け入れ機関や HANAKUMA グループリーダーの指示に従って活動してください。単独行動は避けてください。組織的に活動することで、より大きな力となることができます。

8. プライバシーへの配慮

被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。片づけている瓦礫は被災者の方の大切なものです。勝手に判断せずに『保存しておきましょうか?』と聞き方に配慮して活動してください。また、被災当時のこととお話しされたくない方もいますのでむやみに聞いたりしないようにして下さい。

9. 現地での写真撮影について

支援活動中に知り得たすべての個人情報は、他の方に漏れることがないようにして下さい。HANAKUMA 事務局、またはグループリーダー以外が被災者の方との撮影や許可なく敷地内の撮影は遠慮してください。不快に思う方もいるかもしれません。撮影の際は活動報告の為に写真だということを伝え、常識の範囲内で許可を得てください。

10. 作業時間の厳守

必ず作業時間は厳守をお願いします。朝の活動は、9時～12時（3時間）、午後の活動は、13時～15時（2時間）となります。15時までは、ボランティアセンターに戻るようしてください。片付けの時間とボランティアセンターまでの所要時間を考慮して、作業を終了して下さい。また、継続して作業が必要な際や作業時間の延長がどうしても必要な際は事務局・リーダーと相談し指示に従ってください。

11. 安全管理

作業が危険だと感じたらすぐに作業中断、回避行動をしてください。予定していたボランティア活動以外の活動やハイリスク（危険度が高い）な活動を依頼される場合があります。特に、危険な作業（屋根の上でのブルーシート張りや建物2階以上の高所での活動、壁はがし等）をお願いされた場合は、ご自身の安全を守ることが最優先のため、「その作業はできません」「災害ボランティアセンターからお断りするよう伝えられています」とお断りしてください。予定していた被災地以外の依頼や専門家がが必要な作業については事務局を案内し、電話にてご依頼いただくようお伝えしてください。